

# にぎやかに厳かに 新春フェスタ2020

～活動奨励賞授賞式 新春コンサート 祝賀・交流会～

後援 広島市教育委員会 協力 一般社団法人多山報恩会 広島市助成事業



広島ユネスコ協会主催の「新春フェスタ2020」が、1月25日（土）、広島市文化交流会館で新春らしく賑やかに、そして厳かに開催されました。プログラムは、第22回広島ユネスコ活動奨励賞授賞式、新春コンサート、祝賀・交流会の順にすすめられました。

広島ユネスコ活動奨励賞授賞式では、平和・国際理解・環境・福祉交流活動などを通じて、『世界が2030年までに達成すべき17の持続可能な開発目標・SDGs』にも合致する活動を繰り広げている10の学校・団体が表彰され、表彰式の後には、各受賞者からの活動報告が行われました。



松岡盛人会長あいさつ



松井一實市長祝辞



選考委員長代読 坂本美智子



受賞記念の盾



受賞校・団体代表のみなさんと市長、会長

◆活動発表をされる各校・団体代表のみなさん





コンサートでは、第19回広島ユネスコ活動奨励賞受賞団体である『宇品みなと太鼓』による太鼓演奏が披露されました。この団体は、宇品東学区子ども会育成協議会により青少年の健全育成を目指して設立された和太鼓演奏のグループで、小中学生や高校生・大学生で構成されています。演奏はすべて創作太鼓で、力強く迫力のある調和のとれた演奏となっており、各地の演奏会で様々な賞を受賞しています。



## 2020年新春コンサート

今年の新春コンサートは、活動歴21年目を迎える『宇品みなと太鼓』にご出演いただき、広島の花火大会をイメージした『夢花火みなと祭り』、被爆死された方々の鎮魂を祈る『祈り』など、全5曲を演奏していただきました。コンサートでは幼稚園年少児から高校2年生までの総勢20人が、会場いっぱいに勇壮な演奏を響き渡らせ、多くの聴衆を魅了しました。

祝賀会では、和太鼓の響きに魅せられた余韻に浸りながら、受賞者のみなさん、来賓、協会員との和やかな交流の場が持たれ、今後の活発な活動展開を約束し合いました。

(広報部会理事 森田昌樹)



古田碩永副会長あいさつ



授賞式司会は湯浅克廣教育部会長



受付



首里城募金など

## 第 22 回広島ユネスコ活動奨励賞受賞校・団体

### < 学校部門 >

#### 広島市立湯来東小学校（校長 藤本法生）

1985年4月に地域の伝統芸能を取り入れた「児童田楽団」が結成され、34年間にわたり活動を継続している。2018年からは、地域の文化保存会との連携や地域の協力を得て「田楽フェスティバル」を企画・開催し、地域と一体となって地域遺産の継承に取り組んでいる。

#### 広島市立戸坂小学校（校長 三吉 学）

2016年から、広島で初めて国外の学校と姉妹校提携を結んだオーストラリア・ピンパマ小学校との交流を通して、国際理解教育を切り口としたESDを実践している。なかでも、コミュニケーションを行う力（伝達）・他者と協力する態度（協力）・つながりを尊重する態度（関連）の3つを身に付けた児童の育成に継続的・発展的に取り組んでいる。

#### 広島市立白木中学校（校長 角崎真由美）

地元にある神ノ倉山の桜植樹と山の手入れ、及び老人福祉施設「三篠園」との半世紀を超える交流を継続して行っている。こうした活動により、生徒に高齢社会となっている地域の現状に触れさせるとともに、住み続けられる地域社会の形成者としての意識と態度を育んできている。

#### 広島市立吉島中学校（校長 中村雅俊）

「地域委員」と呼ばれる各学級代表が、校区3小学校内でそれぞれ実施される地域行事の情報を事前入手し、その行事への参加や運営を支える係などの募集案内（申込用紙）を作成して、各学級に参加を呼びかけている。このことにより、各行事の参加者は増加して内容の充実も図られ、地域の文化向上や連帯感の醸成に大きく貢献している。生徒にとっては、地域の一員としての自覚や自己有用感・自尊感情を高めるものとなっている。

#### 広島県立祇園北高等学校（校長 豊田由之）

学校経営目標の一つに「北高生としての自覚とグローバル社会で逞しく生き抜く力の育成」を掲げ、2012年からカナダ・バンクーバー近郊のD.W. Poppy Secondary Schoolとの姉妹校交流・語学研修をスタートさせ、2014年からはブラジル日本移民110周年記念事業として始まったブラジル訪問団（日本語学校生徒）との交流を続けるなど、異文化理解に関する多彩な活動を継続し実施している。

## 広島文化学園大学・短期大学（学長 田中宏二）

近隣の JR 長束駅前通りの活性化を目指して、2012年に地元の経済界などの関係者と「長束駅前通り活性化方策検討委員会」を組織したことに始まり、毎年11月に「わくわくながつかとうべえ祭り」を開催している。学生は、絵本リサイクルや各種ゲーム・体験コーナーを設けるなど、地域住民との交流を深め、活気と明るい雰囲気地域商店街にもたらしてきている。

## < 社会部門 >

### ファッションセラピーの会ヒロシマ（代表 船本和郎）

2009年発足以来、おしゃれをすることの効用（ファッションセラピー）を活用し、消極的になりがちな高齢者や障害のある方・病氣療養の方などに、ファッションを楽しんでもらう取り組みを行っている。このことにより、多くの人々が笑顔や自信を取り戻し、リハビリや地域活動に積極的となり、輝いた社会生活を送る原動力となっている。

### 広島干潟生物研究会（事務局長 くや みつお）

2013年より観察会を年数回実施して、広島デルタにみられる全国有数の塩生植物群落とそこに棲む生き物を記録に残してきている。また、ジュニア研修会や写真展も実施している。こうした活動を通して、地元広島における自然環境と貴重な生き物の保護・保全について広く啓発に努めている。

### このまちにくだしたいプロジェクト（代表 河原正生）

大人になっても生まれ育った地域に暮らし続けたいと思える町づくりを目的として、「みんなが幸せに使える公園」づくりをテーマに掲げ、2013年から中学生と大人（町内会・老人会・女性会など）との多世代プロジェクト活動を行っている。その結果、公園が多世代が集える居場所となり、顔の見えるコミュニティにもつながるものとなっている。

### ふるさと恵下山まもり隊（代表 平井時子）

1970年代に安佐北区内の団地を造成中に古墳（恵下山遺跡群）が発掘され、恵下山公園として整備されたが、その後手入れがされずに密林状態となっていた。その状態を見かねて、2004年から月に1回程度、清掃や樹木の伐採を始め、登山道の整備・草刈り・アジサイやモミジの植栽などを行い、地域の人々が憩い学べる里山を実現している。

## 奨励賞受賞記念の横断幕を掲げ

### 地域を挙げてお祝い～広島市立湯来東小学校



広島市立湯来東小学校には、今回の活動奨励賞の受賞を祝し、地域のみなさんによって横長4㍎、幅90cm大の横断幕を同小学校プールフェンスと水内大橋欄干の2カ所に取り付けられました。横断幕の字幕下部分には、受賞を陰で支えてこられた『水内地区町内会連合会、水内の将来を創る会、水内地区女性会、湯来東小学校PTA、湯来東小学校卒業生一同』の団体名が記されており、地域を挙げての祝賀ムードが感じられます。

